

# 令和6年度 1年 社会科 年間指導計画・評価計画

## 1. 目指す生徒像

学年末の到達目標「地域の諸事象や地域的特色、我が国の歴史の大きな流れを諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする」

『知識・技能』社会的事象の特色や相互の関連を理解し、諸資料を適切に選択し活用することができる。

『思考・判断・表現』社会的事象を多面的・多角的に考察し、公正に判断し、適切に表現することができる。

『主体的に学習に取り組む態度』社会的事象に対する関心を高め、意欲的に追究し考えることができる。

## 2. 評価方法

観点	①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
主な評価方法	授業ノート 提出課題 定期テスト 小テスト	授業ノート 提出課題 定期テスト 小テスト	授業ノート 提出課題

## 3. 年間指導計画・評価規準

月	単元	時数	学習活動	①	②	③	評価規準（おおむね満足できる B）
4 5	<b>【地理的分野】</b> <b>第1部 世界と日本の地域構成</b> <b>第1章 世界の姿</b> <b>第2章 日本の姿</b>	5 5	世界の地域構成を取り上げ、位置や分布などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。 緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解する。 世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。 世界と日本の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	①緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置などを基に、世界の地域構成を大観し理解している。 ②世界の地域構成の特色を、大陸と海洋の分布や主な国の位置、緯度や経度などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

6 7 9 10 11 12	<b>第2部 世界のさまざまな地域</b>  <b>第1章 人々の生活と環境</b> <b>第2章 世界の諸地域</b>  1 アジア州 2 ヨーロッパ州 3 アフリカ州 4 北アメリカ州 5 南アメリカ州 6 オセアニア州	9 4 2  場所や人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにする。  人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解する。また、世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。その際、世界の主な宗教の分布についても理解する。  世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現する。  世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそことで見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	①人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ①世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。  ②世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。  ③世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそことで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
4	<b>【歴史的分野】</b> <b>第1部 歴史のとらえ方と調べ方</b>  第1節 歴史の流れと時代区分	2  中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解し、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。  小学校での学習を踏まえて、歴史上の人物や文化財、出来事などと時代区分の関	○	○	○	①年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。 ①資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 ③過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそことで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

			わりなどについて考察し表現する。				
5 6 7 9 10	<b>第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり</b>  <b>第1章 古代国家の成立と東アジア</b>  第1節 人類の登場から文明の発生へ 第2節 東アジアの中の倭(日本) 第3節 中国にならった国家づくり 第4節 展開する天皇・貴族の政治	18	世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解する。  日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解する。  律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。  仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。  古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。  古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。  古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	①世界の古代文明や宗教のおこりを基に、世界の各地で文明が築かれたことを理解している。 ①日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和朝廷(大和政権)による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解している。 ①律令国家の確立に至るまでの過程、摂関政治などを基に、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解している。 ①仏教の伝来とその影響、仮名文字の成立などを基に、国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解している。 ②古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③古代までの日本について、よりよい社会の実現を視野にそこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。

11 12 1	<b>第2章 武家政権の成長と東アジア</b>  第1節 武士の世の始まり 第2節 武家政権の内と外 第3節 人々の結び付きが強まる社会	15	鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。 南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。 農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	○	○	○	①鎌倉幕府の成立、元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解している。 ①南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解している。 ①農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、武士や民衆などの多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などを基に、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 ②武士の政治への進出と展開、東アジアにおける交流、農業や商工業の発達などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ②中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	<b>第3章 武家政権の展開と世界の動き</b>  第1節 大航海に	7	ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基	○			①ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。

	よって結び付く世界 第2節 戦乱から 全国統一へ		に、近世社会の基礎が つくりだされたことを理解する。				
3	第2節 歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた	2	身近な地域のなかで受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとのかかわりのなかで地域の歴史を調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。 博物館や郷土資料館などの利用や地域の人々の協力も考慮し、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現する。	○	○	○	①自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的なことがらとの関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 ②比較や関連、時代的な背景や地域的な環境、歴史と私たちとのつながりなどに着目して、地域に残る文化財や諸資料を活用して、身近な地域の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③身近な地域の歴史や受け継がれてきた伝統・文化に対する関心を持ち、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。